

一般質問通告書(令和6年9月定例会市議会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	芝田 英範	1. 旧野津高校跡地再活用について	(1) 敷地・施設の「具体的な再活用方法」について (2) 今後、整備すべき課題について		
		2. 鳥獣被害について	(1) 鳥獣被害の状況について ① 猿の動態調査の経過について ② 猿被害とその対策について ③ 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護管理法)の改正について		
2	平川 幸司	1. 新白杵港について	(1) 現在までの整備状況について ① 道路について ② 緑地について ③ 施設について (2) 今後について ① 運用開始時期について ② 市民への周知について		
		2. 白杵が生んだ偉人・吉丸一昌先生について	(1) 吉丸一昌先生の功績を後世に伝えるための取り組みについて ① 3つのきょう育のうち「郷育」における活用について ② 吉丸一昌音楽祭について ③ 吉丸一昌先生に関する情報の発信及び観光振興について		
3	広田 精治	1. 会計年度任用職員の給与改定と勤勉手当等について	(1) 本市業務における会計年度任用職員の役割、評価について伺う。 (2) 昨年12月定例会で行った給与改定の実施について伺う。 ① 本市は総務省通知による令和5年4月1日遡及実施の要請を見送り令和6年度実施とした。令和5年人事委員会勧告に伴う給与改定に要する経費について交付税措置が講じられ、追加財政需要額が増額補正されているとのことだが本市はいくらか。 ② ①の財源の活用(充当)先について詳細にお答えください。 (3) 国は地方自治法を改正し、令和6年度から会計年度任用職員への勤勉手当の支給を可能にしたが本市は不支給とした。以下伺う。 ① 支給しない合理的な理由について。 ② 国は会計年度任用職員への勤勉手当の支給に要する経費について、地方財政計画の一般行政経費等に1,810億円を計上、交付税措置を講じたが、本市はいくらか。その財源の活用先。 (4) 任用の継続に関して、人事院は国の非正規公務員(期間業務職員)の「3年目の公募」の撤廃を各省庁に通知した。これを受けて総務省は「会計年度任用職員に関する事務処理マニュアル」を改正し、自治体に通知した。職員の「雇止め」による生活不安を払拭、安心して行政サービスを提供できるように能力実証による任用の継続を図るべきだが、見解を伺う。		
		2. 本市職員に対するパワーハラスメント等の防止対策について	(1) 令和2年6月以降の市庁舎内のハラスメント(パワハラ・セクハラ等)被害の相談、申立ての状況について伺う。 ① 相談苦情窓口となっている総務課等への申立て件数、公平委員会への申立て件数。 ② 事実関係ありと判断、ハラスメント対策委員会を開催した事案数。 (2) 令和2年6月施行の改正労働施策総合推進法への本市の対応について伺う。 ① 改正労働施策総合推進法は職場におけるハラスメント防止措置を義務化した。法改正後、本市が行ってきた具体的な対策・措置について。 ② 職員にとってハラスメント被害の相談(申立て)自体大きなリスクが伴うが、被害者が安心して相談できる環境づくり、相談・通報者を守る仕組みについて。 (3) ハラスメントの内容、行ってはならない旨の方針の明確化、行為者への厳正な対処、相談体制の整備などを定めた条例、規則、規定の制定の考えはあるか伺う。		

一般質問通告書(令和6年9月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
4	匹田久美子	1. 「公益通報者保護制度」(内部通報)について	<p>(1) 本市の職員が、市の事務事業について法令違反や不当な事実を知り得た際、通報を受け付ける窓口はどこであるか。受付から対処まで、どのような流れを想定しているか。</p> <p>(2) 内部通報者のプライバシーが守られ、職場環境において不利益を受けないような配慮は行われているか。</p> <p>(3) 「改正公益通報者保護法」を実効性あるものにするために、法に基づいた本市での制度構築と運用をどのように進めていくか。</p>		
5	河野 巧	1. 公共施設(公共建築物)について	<p>少子・高齢化が進む中、公共施設等の老朽化も進み、管理運営方法や利用活用への需要の変化があると予想されます。今後、地域コミュニティ充実のためにも公共施設等を効果的・効率的かつ持続的に活用していくことが必要であると考えます。そこで、現状と課題及び対策等について伺う。</p> <p>(1) 公共建築物はどのようなものがあり、その現状と課題は何ですか</p> <p>① 市が所有し、地区が管理している施設について(地区が所有し、地区が管理している地区公民館は除く)</p> <p>② 市が所有し、市が管理している施設について</p> <p>③ 観光施設・文化施設・体育施設等として、入場料等を徴収し活用している施設について</p> <p>④ それらを維持する年間経費と年間収入について</p> <p>(2) 白杵市公共施設等総合管理計画の中に「健全で持続可能な自治体経営を実行する」と書かれていますが、健全と考える白杵の判断基準及び白杵市が考える経営的な視点とは何ですか</p> <p>(3) 必要な公共サービスを持続的に提供し続けられる経営的な視点に基づく今後の取り組みの中で、最重要課題及び対策は何ですか</p>		
		2. 地域振興協議会の役割と拠点施設について	<p>自治会の統合が進まない現状がある中、地域振興協議会が自治会の窓口になり、自治会の統合や事務の効率化を進める事ができれば、地域の活性化にもつながり、行政内部の事務の効率化にもつながると考えます。現状の地域振興協議会の役割、自治会の役割、事務の効率化を推進するための方策等、今後の展望について伺う。</p> <p>(1) 自治会の統合に向けた取り組みについて、地域振興協議会を活用する考えはありますか</p> <p>(2) 庁舎に来所せずに、地域振興協議会の拠点施設で行える行政サービスは現在どういったものがありますか</p> <p>(3) 白杵市は書かない窓口を進めテレビ電話などを活用し相談や手続きなどの行政サービスを進めています。地域振興協議会の拠点施設で活用することは考えていますか</p> <p>(4) 白杵市が今後期待する地域振興協議会の役割と、白杵市が理想とする住民自治とは何ですか</p>		
		3. 旧県立野津高校跡地について	<p>旧県立野津高校跡地の利活用事業が失敗に終わり、その後、再活用に向けた取組が行われています。失敗後の経過と対応、再活用の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 失敗した利活用事業及び事業者の負債額の対応等現状について</p> <p>(2) 再活用の方針及び取り組みの現状について</p> <p>(3) 市民会議の役割と意義及び意見の反映と周知について</p> <p>(4) 再活用への市民参画(特に野津地域住民)の現状について</p>		

一般質問通告書(令和6年9月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁 順序	答弁者
6	戸匹 映二	1. 認知症コミュニケーション・ケア技法のユマニチュードの活用について	(1) 介護ケア技法の一つであるユマニチュードへの認識について ① ユマニチュードのケア技術は2012年に日本に初めて導入され10年以上が経過した中で、特に認知症の方へのケアに有効と言われ、看護師や介護専門職などへの導入が広がり、また、大学などでの教育やケアに対する研究などにも活用されてきており、近年は広くそのケア技法の存在が知られてきている。 そこで、このユマニチュードのケア技法及び普及に対する市の考えを伺う。 (2) ユマニチュードの一般市民への普及について ① ユマニチュードを認知症コミュニケーション・ケア技法として一般市民向けや児童生徒向けに講座を開催するなどして、普及をすることにより、認知症の人にやさしいまちづくりを目指している先進事例がある。 白杵市においても、認知症になっても安心して暮らせる白杵市へ向けての更なる推進の一方策として、ユマニチュードの講座を一般市民向けに開くなどの取り組みを行い、介護者はもとより広く市民に向けて、ユマニチュードの普及に取り組んでいただきたいが如何か。		
		2. 働きながら家族などの介護をするビジネスケアラーへの支援について	(1) ビジネスケアラーに対する課題認識について ① 近年増加傾向にある、働きながら家族などの介護をするビジネスケアラーは、家族介護者の4割に相当すると言われている。 このビジネスケアラーに対する市の課題認識を伺う。 (2) ビジネスケアラーに対する白杵市の現状と支援について ① 仕事と介護の両立や介護者の心身の負担軽減などに対して、市の現状と支援策を伺う。 (3) ビジネスケアラーに対する今後の取り組みについて ① 職場でのビジネスケアラーに対する経営層への意識啓発への支援、また、職場での介護需要の実態把握への支援が必要と考えるが如何か。 ② ビジネスケアラーの実態把握へ向け、家族介護者におけるビジネスケアラーの実態調査を市としても行う必要があると考えるが如何か。		
7	大塚 州章	1. おおいたさくら猫プロジェクト政策について	(1) 令和5年白杵市議会9月定例会の一般質問で質問をさせていただいたおおいたさくら猫プロジェクト政策について、その後の進捗状況をお伺いしたい。		
		2. 白杵駅周辺の将来像について	(1) 土地利用及び各種計画等における白杵駅周辺の位置づけについて、現状をお伺いしたい。 (2) 来年3月に新白杵港がオープンをすると聞いています。これによって、白杵駅周辺から中心市街地への車や人の流れに影響が出てくるのではないかと考えられますが、白杵市としてどのように変化すると捉えていますか。 (3) 白杵駅・新白杵港・高速IC等白杵の玄関口をつなぐための政策や、玄関口と街中との連携、車の流れを踏まえた道路整備など課題はたくさんあると思いますが、将来の白杵のまちづくりを見据えて、白杵駅は重要な玄関口の一つであり、駅周辺の将来像も含め、現在取り組まれている次期白杵市総合計画の中での位置づけも含めた考えをお聞かせいただきたい。		
8	安東 鉄男	1. 野津地域における市営住宅の整備方針について	野津地域では民間の賃貸住宅が少なく、その受け皿として市営住宅の果たす役割は大きいと感じている。また一方で、施設の老朽化やそれに伴う空き室の増加も進んでいる。これらに対応して入居環境の改善をはかることは、野津地域の住環境の一層の向上につながると思われる。 特に原口住宅は建築年代が古く、入居者からの早期の建替えを望む声を多く聞いており、建替えによる環境改善や幅広い層の入居による地域の活性化も期待でき、野津地域の住環境の向上という面で影響は大きいと考える。 そこで、以下の項目について伺う。 (1) 市営住宅の施設及び入居に関する現状と課題について (2) 原口住宅の更新の計画について		
		2. 小中学生の学力の現状と向上のための取り組みについて	(1) 7月に公開された「大分県学力定着状況調査」及び「全国学力・学習状況調査」の結果も踏まえ、白杵市の児童生徒の学力の現状と向上のための具体的な取り組み、更には今後の展望について伺う。		